

令和5年度

第3回 地域づくりコーディネーター研修会

in 山口

地域づくりの手法を学びたい方、

地域課題に取り組む方必見！

地域に根付いた

まちづくりの

先導者たち



宮川 将人氏



畑と地域は
自分たちで守る

四万十川に
負担をかけない
ものづくり



松場 登美氏



畦地 履正氏



土地に根ざした
ものづくり

— 地域文化、環境、人材連携を語る —

12.8 金

研修会 | 13:00-17:00 (現地・オンライン)

交流会 | 17:00-19:00 (現地希望者のみ)

定員 | 現地 40名 オンライン 100名

参加料 | 研修会 3,000円 交流会 3,000円

会場

KDDI維新ホール・Zoom
(山口県山口市小郡令和1丁目1番1号)

お問合せ先 | 地域づくり団体全国協議会事務局

後援：総務省(予定)、一般財団法人 地域活性化センター

Tel:03-5202-6136 Fax:03-5202-0755

Mail:chi-dantai@jcrd.jp

スケジュール

12:30 — 受付開始

13:00 — 開会のあいさつ

地域づくり団体全国協議会
会長 岡崎 昌之
一般財団法人地域活性化センター
理事長 林崎 理

13:15 — 趣旨説明

地域づくり団体全国協議会
会長 岡崎 昌之



13:30 — 報告（各50分）

株式会社 石見銀山生活文化研究所
取締役相談役 松場 登美氏
株式会社 四万十ドラマ
代表取締役 畦地 履正氏
くまもと☆農家ハンター
代表 宮川 将人氏

16:05 — 休憩

16:10 — トークセッション
(質疑応答を含みます)

松場 登美氏 / 畦地 履正氏 / 宮川 将人氏
▼地域づくり団体全国協議会
会長 岡崎 昌之 (法政大学 名誉教授)
幹事 柳井 雅也 (東北学院大学 教授)
幹事 本田 節 (熊本県人吉市・
(有)ひまわり亭 代表取締役)

17:00 — 閉会

報告者紹介

※詳細なプロフィールは
HPをご覧ください。

株式会社 石見銀山生活文化研究所 (島根県大田市)

取締役相談役 松場 登美氏



三重県津市生まれ。夫の実家・松場呉服屋の片隅で、布小物の製造・販売を始め、築150年の古民家を修復し、店舗をオープン。以来、夫と共に数軒の古民家を修復し、生活文化交流の場として活用している。1998年、株式会社石見銀山生活文化研究所を設立し、商品の企画、製造販売を手がける。土地に根ざしたものづくりのよさを発信している。現在は、築230年の武家屋敷「阿部家」で、古き良き時代の良さを大切にしながらも、新しい価値観を提案する暮らしの場「暮らす宿 他郷阿部家」として、宿の営業も行っている。

株式会社 四万十ドラマ (高知県四万十町)

代表取締役 畦地 履正氏



四万十町(旧十和村)生まれ。「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに、地場産業を掘り起こしながら地域発着型産業を目指し、生産者や地域と共に歩む「地域商社」として事業展開。地元のを「しまんと地栗」としてブランド化。「しまんと緑茶」「人参芋」などの産地化や販売促進にも力を入れ、生産者と連携し、「しまんと流域農業 organicプロジェクト」を発足。四万十の産業・暮らし・風景が100年後も残るよう、次世代に向けた地域産業の仕組みづくりにも挑戦している。

くまもと☆農家ハンター (熊本県宇城市)

代表 宮川 将人氏



花農家三代目(有)宮川洋蘭 代表取締役。東京農業大学卒、アメリカ研修ののち、戸馳島に帰郷。サイバー農家として洋蘭をネット販売で拡大させる中、2016年に農家仲間と「くまもと☆農家ハンター」を立ち上げ、活動を開始。「畑と地域は自分たちで守る」をスローガンに、ICTを駆使しながら鳥獣対策を講じる。2019年に(株)イノPを起業。ジビエファームを開業し、サステナブルな獣害対策モデルを構築。住民主体の活動の意義を全国に波及させている。第40回ふるさとづくり大賞「総務大臣賞」受賞。TV番組「情熱大陸」出演。好きな言葉「微力でも無力じゃない」「返事はYESかハイ!」

申込方法

申込締切 >>> 12.1 金



手洗いやうがい、手指消毒、マスクのご準備など、感染症防止対策へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

インターネット | 右のQRコードから当センターのHPにアクセスいただき必要事項をご入力ください。
郵送・電子メール・FAX | 以下の必要事項をご記入いただき、表紙の連絡先へご送付ください。



団体名・会社名			所属・役職名		
氏名(ふりがな)	()				
住所	〒				
TEL	固定 ()	-	携帯 ()	-	
FAX			E-mail		
参加方法	現地	・	オンライン	交流会(現地のみ)	参加 ・ 不参加
請求書	要否	要	・	否	領収書
	宛名			要否	要 ・ 否
	宛名			宛名	
賛助会員参加権	利用する	・	利用しない	※賛助会員の方のみ利用可能	
その他					